

# まちのニュース **のカメラ・アイ** ～地域のお話をお届けします～

8/22



## みんなで支えあえる地域づくり

8月22日（水）、和寒町公民館恵み野ホールで、旭川大学保健福祉学部コミュニティ福祉学科 白戸一秀教授を講師に招き、「みんなで支えあえる地域づくり」をテーマに介護予防講演会を行いました。

この講演会は町と三笠山大学の共催で開催され、参加者は、誰もが安心して暮らせるまちとはどんなまちなのか、自分たちの生活課題は何なのかなど、日常生活に当てはめ、講演に真剣に耳を傾けていました。

8/24



## 秋の味覚を堪能

8月24日（金）、農業活性化センターの活動を町民に広く知ってもらおうと、農業活性化センター「農想塾公開デー」が開催されました。

この日は、保育所園児など町民約200名が訪れ、じゃがいも収穫体験やとうもろこし輪投げ、フラワーアレンジメント体験のほか、試食コーナーではとうもろこしや南瓜団子、和寒産小麦を使った食パン・ジャガイモを使ったピシソフーズスープなど、採れたての秋の味覚を楽しみました。

8/24



## お神輿ワッショイ!

8月24日（金）から26日（日）までの3日間、五穀豊穡等を願う和寒神社例大祭が行われました。

25日の本祭りには神輿の渡御が行われ、威勢のよい掛け声とともに御神輿が町内を練り歩きました。多くのかたがたが沿道に駆けつけ、活気に満ちた神輿行列に歓声を送りました。

また、市街地の各所に設けられた駐輿所では、優雅な稚児舞の演舞や、塩狩太鼓の迫力ある演奏が披露され、訪れた人たちも祭りの雰囲気を楽しんでいました。

9/4



## 高齢者の人権を考える

9月4日（火）、三笠山大学9月講座が開催されました。講師に旭川地方法務局 浜野 名寄支局長を招き、「高齢者の人権」と題した講義で知識を深め、その後、町議会議員との懇談会を開催し、活発な意見交換が行われました。

午後からは第2回学長杯争奪パークゴルフ大会が開催され、大学生は、有意義な一日を過ごしていました。

9/7



## 疲れたけど楽しい遠足

9月7日（金）、和寒保育所の遠足が行われました。

この日は好天に恵まれ、三笠山自然公園のこどもの国を目指しました。きつい坂道も園児たちは保護者と一緒に最後まで元気いっぱい歩きました。

こどもの国では、この日のために開放していただいた園内の遊具で遊んだり、お昼にはみんなでお弁当を食べたりと楽しい遠足となりました。

9/8



## 世代をこえた交流会

9月8日(土)、こども館で社会福祉協議会と児童館の共催事業である「高齢者と小学生の交流会」が開催されました。

75歳以上の一人暮らしの高齢者7名と小学生13名が、とうもろこしの皮むき、枝豆もぎ、かぼちゃ団子作りなどを行い、一緒に昼食をいただきました。

最後は3チームに分かれて大型スマートボールで得点を競い合い、ワイワイと盛り上がり、大変楽しい交流会を終えました。

9/13



## 日本一のかぼちゃを収穫

9月13日(木)、農業を体験する中で、勤労の尊さや苦勞、充実感を味わい、郷土への理解を深めようと、中学生による農業体験学習が行われました。

この取り組みは、総合的な学習の一環として平成8年から毎年行われているもので、全校生徒89名が12班に分かれ、町内の各農家でかぼちゃの収穫体験を行いました。

残暑の中、生徒たちは立派に成長したかぼちゃを丁寧に収穫し、貴重な農業体験となりました。

9/14



## 交通安全を誓い ナイスショット

9月14日(金)、和寒町交通安全協会主催の交通安全スポーツ大会が開催されました。

ルールを遵守するスポーツ競技を通して、交通安全の認識を高め、町民相互の親睦を図る目的で毎年行われ、20回目を迎える今年は68名の町民がパークゴルフに参加しました。この日は好天に恵まれ、さわやかな汗を流しながらお互いの腕を競い合いました。結果は以下のとおりです。

【男子の部】 優勝 川村真一(字三笠)

【女子の部】 優勝 山本敏子(字三笠)

9/15



## いつまでもお元気で

町では毎年、喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)、100歳以上のかたに「これの大樹祝金」を贈呈しています。

今年も、78名の対象となるかたに、ご自宅や芳生苑を訪問し、長寿のお祝いをお届けしました。

また、国では老人の日記念事業として今年度中に100歳を迎えるかたに内閣総理大臣からの祝い状及び記念品が贈られ、町内でも対象となる3名のかたに伝達されました。

9/15



## ツール・ド・北海道

9月15日(土)、ツール・ド・北海道2012第1ステージが開催されました。第1ステージは、スタートの旭川市から和寒町などを經由し、ゴールの当麻町までの159Kmで行われ、町内では、道道和寒幌加内線から道道三和剣淵線をとるコースを19チーム95台の自転車が一団となって駆け抜けました。

交差点や沿道には、観戦に多くの町民が訪れ、スピード感あふれる迫力あるレースに声援を送っていました。